令和8年10月

回復期リハビリテーション病棟に係る掲示事項

1．退棟患者数　（令和８年7月から9月）

① 回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数　61 名

② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数　61 名

③ ②状態の内訳

	区分別内訳（②の対象患者）	患者数	割合
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部損傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	45 名	74%
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は２肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	11 名	18%
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており手術後又は発症後の状態	0 名	0%
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋、又は靱帯損傷後の状態	3 名	5%
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	2 名	4%

2．実績指数（前月までの６ケ月間）　各年度（４月、７月、１０月、１月）に算出

④ 実績指数（　⑥／⑦　）　令和8年10月　48.58

⑤ 実績指数の計算対象とした患者数　91 名

⑥ ⑤の患者の退棟時FIM得点から入棟時FIM得点を控除した総和　1,710 点

⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を、患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数で除した総和　35.20

$$\text{実績指数} = \frac{\text{⑥　FIM運動項目の得点　退棟時－入棟時（対象患者の総和）}}{\text{⑦　在棟日数÷入棟時の状態での算定日数上限（対象患者の合計）}}$$